

先輩の声



2021年3月修了
鍛冶谷 里咲先生

当院のプログラムに応募した理由は、天王寺への地元愛と8ヶ月間の医科研修プログラムに興味を持ったからです。

1年目の研修では周術期管理や抜歯、腫瘍や外傷について学び、指導医の先生方のご指導の下、成長することが出来ました。

2年目の医科研修では各診療科で全身管理について学びました。麻酔科や救急救命センターでは、ルート挿入や気管挿管を経験させていただき、内科では糖尿病やCKDの管理について学び、外科では食道癌等周術期管理に関わりのある病気の手術に入らせていただきました。

また昨年から大学院生になり、研究という新たな取り組みもさせていただいています。臨床でも研究でも自分がやりたいことをサポートしてもらえる環境です。

当院で研修できて本当に良かったなと思っています。

鍛冶谷 里咲

研修を終えて

当院研修プログラムをマッチングした理由

口腔外科学分野に興味があり研修先を探している中で、外科だけでなく周術期口腔機能管理や一般歯科治療も学べるプログラムを魅力的に感じました。また、医科研修は研修医の時期を逃すとなかなか経験できないと考え、市大のマッチングに応募しました。

実際の研修で経験したこと

最初は介助や見学から始まり、徐々に残根抜歯や水平埋伏知歯抜歯などの小手術も経験していきます。上級医の先生にご指導いただきながら歯科処治療を行えるので、安心して手技が学べました。

また、抜歯など外科症例だけでなく周術期患者に対しての保存治療や補綴治療も行っており、根管治療や義歯作成なども経験できました。

2年目には医科研修医とともに、救急救命センター、麻酔科、内科、消化器外科にて研修をさせていただきました。

当院プログラムでよかったこと

当院は地域医療における中核病院として様々な疾患の患者様を受け入れています。

このような環境で有病者の口腔ケアや歯科治療などを学べたことは、今後、超高齢化社会において歯科治療を行っていくうえで大きな糧となると思います。



瀧井 知恵

2022年3月修了
瀧井 知恵先生

先輩の声

当院の研修プログラムを選んだ理由

もともと口腔外科の研修を探していましたが、当院は8ヶ月というまとまった期間の医科研修があるため、有病者への対応をしっかりと学べるのではないかと考えて応募しました。

実際の研修で行うこと

智歯抜歯やヘミセクションといった処置はもちろん、重い全身疾患を持つ患者に対する対応を指導医の先生に教えていただきながら実際に行います。医科の主治医と連携して患者の状態に合わせた歯科治療の方針を立てることも仕事の一つです。

医科研修では救急科、麻酔科、内科、外科を回ります。救急や手術の現場、あるいは病棟で、静脈路確保や気管挿管、全身管理を実際に行います。



2023年3月修了
徳岡 勲 先生

徳岡 勲

当院の研修プログラムを受けて良かったこと

大阪市内随一の総合病院である当院には様々な疾患に悩む患者がおられますので、歯科医師として対応するにも手術や薬剤、放射線治療など多様な知識が求められます。「知らずに歯科治療をした」では済まされないことも多々あるため臨床研修という早いうちに学ぶことができ良かったと感じています。



2023年3月修了
中村 彩乃 先生

中村 彩乃

研修を終えて

様々なマッチングプログラムがありましたが、2年間の必修研修、その中で2年目の必修の医科研修があるのは公大のプログラムだけで、医科の中でどのように歯科が介入していくのか、どのようにして地域連携を含め医科歯科連携、チーム医療を行なっていくのかを学びたくこのプログラムに応募しました。

1年目では周術期口腔機能管理を含めた一般歯科、口腔外科領域を指導医のアシストをしながら実際の手技だけではなく、診断に至るまでの検査方法や治療法などを学びました。

2年目の医科研修では実際に医科の研修医と一緒に内科、外科、麻酔科、救急救命センターでの研修を行いました。担当患者の日々のバイタルチェック、全身状態の管理や術後の管理、患者ごとの処置などを毎日病棟で行いました。

今後ますます増加していく高齢者であります。有病者への対応は歯科口腔領域においては重要な部分であるともいえ、医科との連携をはかりチーム医療の一員として、全身管理、口腔に影響を及ぼす薬剤や放射線治療など幅広く学ぶことができよかったですと感じています。